

専門学校開設についての疑問 町の負担はどこまでになるのか

昨年12月、専門学校設置の話が庁舎内で議員と町長以下行政職員を集めて行われました。

専門学校側は、仲介役の宮澤県議と学院長の米田建三氏（元衆議院議員、現国際経済交流協会会長）と代表理事の真野篤師氏（人材派遣会社MRS代表取締役）と数人のスタッフが出席しました。

株式会社MRSは、本が大阪にあり、1012年設立、資本金3000万円の人材派遣会社で、ベトナムにも事務所を持ちベトナム人の人材派遣などを行っていま



福祉会館

専門学校開設は、福祉会館を借りて平成31年4月にシステムエンジニア学科を定員40人でスタートさせ、32年度から福祉学科とシステムエンジニア学科をいずれも定員40人で開設。

3学科とも2年制で最大定員数は240人。生徒は、日本人も募集するが主にベトナム人を対象にする、宿舎は、滝沢にある県の安曇養護学校寮を使用する、というものです。

福祉会館は、現在、シルバ―人材センターに管理委託していますが、11月末までとし、12月から改修予定です。

改修費は一旦町が支払い賃借料に上乗せするとのこと。安曇養護学校寮は、町が県から購入し、12月に改修し、改修費は、福祉会館と同様で賃借料に上乗せするとしています。

住民説明会は、3月10日に

福祉会館で仲介役の宮澤県議と町長、当時の副町長、担当課が出席し、住民は55人ほどが参加しました。

しかし、なぜその場に専門学校当事者が出席していませんでした。住民からの質問に県議や担当課長が答えました。学校責任者の回答が聞けなかったことは不安を感じました。

その後、1丁目の住民に對しての説明会がもたれましたが、それでも学校責任者が出席しませんでした。

町は、工場誘致と同じ考えでとらえていると言い、「住民が増えれば国からの交付金が多くなる」とも言います。

ほとんどの生徒が外国人で、若者240人が福祉会館で収まるのでしょうか。放課後や土曜日、日曜日はどう過ごすのでしょうか。運動場もあります。

町は、農村広場を使用するのではと言いますが、中

学校の部活や地域の野球などで使用されています。また、安曇養護学校寮を県から購入し、寮と福祉会館を改修し、その費用を月々の賃借料として支払ってもらう方針ですが、経営に心配はないのか、寮の購入費や改修費は、保障されるのか、また、学校評議員に町や議会、自治体の代表者も

福祉会館を使えなくなると困ります

今とても困っています。4月19日付けで役場町づくり推進係からお手紙がきました。内容は「福祉会館の使用可能期間が当初9月末まででしたが11月末までになりました。」というものでした。

私の所属している「協立病院健康友の会」では、毎月第3水曜日の午前中福祉会館の運動ルームを借りて



担う方針ですが、民間事業所になぜ行政や町民の代表を出すのか不思議です。責任の一端を負わされることになりかねません。6月に学校責任者が議会と住民に説明に来る予定ということなのでしっかり疑問点を聞きたいと思います。町議会議員 服部久子

福祉会館をベトナム人を対象とする「専門学校」にするのですが、利用者には詳しい内容は知らされていません。

使えなくなりますというだけで、他の場所の紹介もありません。これから場所探しをしなくてはいいませんが、頭の痛いことです。

3丁目 山本久子

5月3日憲法記念日行動

松本花時計公園で集会とデモ



安倍首相が9条改憲を打ち出して1年。

「本気でとめる戦争！中信市民連合」が主催して、「安倍改憲が日本をどこに導くか」ゲストに元内閣官房副長官補「柳沢協

二」氏を迎えⅡ戦争と社会・戦争と人間Ⅱ市民の立場で考える戦争と平和Ⅱが松本花時計公園で開かれました。

安全保障・危機管理を担当していた経験から、安倍改憲の問題点を明らかにしました。

アトラクションはうた&トークの社会派アイドル『制服向上委員会』が辛口風刺の替え歌で楽しませてくれました。終了後、市内をデモ行進し「9条改憲を許すな」と訴えました。

中島 牛越邦夫

ながせ由希子さんのポスターを貼りだしました
参議院長野選挙区予定候補者
ながせ由希子さん



来年夏の参議院長野選挙区に立候補します。東京都大田区生まれ、信州大学教育学部卒業。新聞あかはた記者、長水地区委員長を経て予定候補者として活動しています。

聞いて！聞いて！

読者のひろば

お待ちしています。投稿のことなど、何でも結構です。お待ちしております。

「ツレウツ 時々仲良し」

その1

安曇部真羊子（匿名）

みなさんはうつ病をご存知ですよね。でもうつ病患者への対応となると、自信がない方がほとんど。私自身が9年にわたるツレのうつ病にいまだにどう対応すべきかわかりませんから。

誰でもⅡ7人に1人Ⅱがかかる心の風邪（軽いもの）とか、「張れ」とは言わないほうがいいと機械的に思われていること。一方で気分転換に散歩でもすれば？とか、なに甘えてるんだ怠け者とか言われる事実誤認はまだ多いんですね。病氣なのだけど病氣と本人も認めたがらない。初期はそういう人が多いからですかねえ。

ツレの発症は池田に引っ越した後が「一応」最初ですが、きっかけそのものは引っ越し前にありました。

ツレは取り付いていた仕事に關わって心配の種を解消するために1カ月近く奔走していました。おかげでことは一段落し、心配の種は解消されたのですが、心は傷だらけになっていました。

眠れなくなって夜中に目を覚まし、そのまま朝を迎え、頭はギンギラギンに冴えていると錯覚。しかし考えはまとまらず同じことを繰り返しチェックしなければ気がすまなくなっていました。

さらに大本を辿ってみると小学1年頃の体験がありました。未成年の子ども7人を残して連れ合いが早世しはやばやと寡婦になった母親。子どもたちとの暮らしを守るため、故林百郎弁護士（日本共産党衆議院議員）の力を借り、県を相手に裁判を起して毎日飛び回っていました。

母親の不安な心がまだ小学1年生の深層心理に大きく影響し、極端な心配性になったのではないかと。「死にたいと思っていた。うつ病だったかも」という当人の弁からはそのときの傷もあるのかもしれないと思いますが医者からは否定されました。

でも私にはまだ割り切れていません。